

## (臨床研究に関する情報)

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和3年3月23日制定、令和5年3月27日一部改正。）に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、検体・診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。検体・診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名] 頰椎椎弓形成術後患者における上肢機能と転帰先の関連について

[研究の目的]

当院で頰椎椎弓形成術とリハビリテーションを施行された患者さんを対象として、上肢機能の評価尺度である簡易上肢機能検査（STEF）の詳細項目の退院時の点数が転帰（自宅への退院か否か）に關係するかを検討し、自宅に直接退院できるように役立てます。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

頰椎症性脊髄症または頰椎後縦靱帯骨化症の診断に対して、2019年4月1日から2025年3月31日の間に、当院整形外科にて頰椎椎弓切除術を施行され、その後に当院にてリハビリテーションを受けた方

○利用する検体・情報

情報：髄節レベル、合併症および既往歴、入院時年齢、性別、同居家族の有無、身長、体重、BMI、簡易上肢機能検査(STEF)、10秒テスト、握力、ピンチ力、ブロックテスト、小指離れ徴候(finger escape sign)、Neurosurgical Cervical Spine Scale、頰髄症治療判定基準(JOA score)、箸操作困難感の程度、患者立脚型評価としてHand20、HADS、ADL能力の評価尺度であるBarthel Index、在院日数、転帰、入院日、退院日

○利用または提供を開始する予定日

倫理委員会承認日

この研究について、研究計画や關係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や學術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院 医療技術部 リハビリテーション部門 作業療法士 大浦 敦樹

電話 087-891-2306